

ふそく

第247号

3月定例会

2月臨時会



①検温・予診



②医師の問診

第1回新型コロナワクチン接種シミュレーション



④接種済証発行



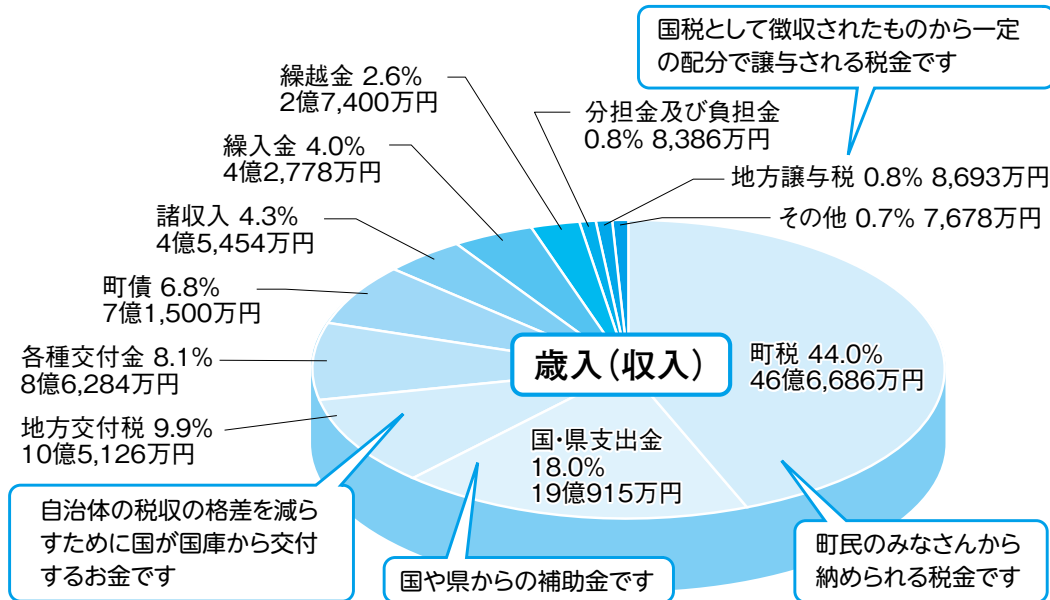
③ワクチン接種

目次

- 3月定例会の概要 …… 2・3P
- 各常任委員会の審査 …… 4・5P
- 議員別審議結果一覧表 …… 6P
- 一般質問 …… 7P～13P
- 議会改革特別委員会中間報告 …… 14P

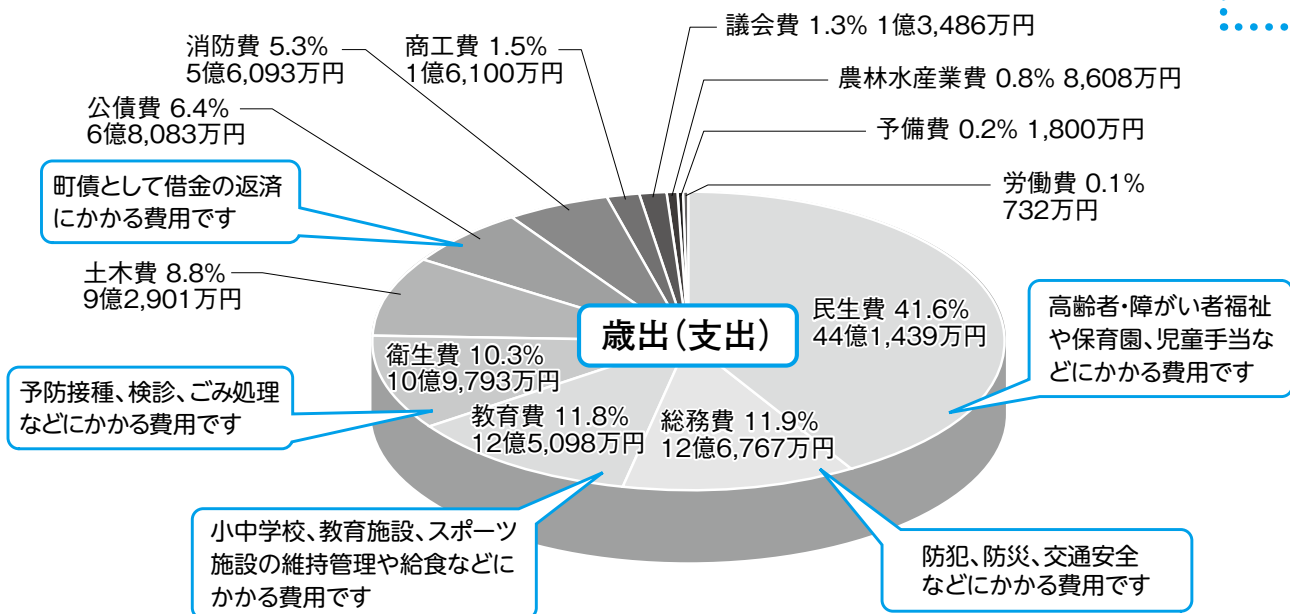
子育て支援・教育の充実予算

歳入合計 106億900万円



令和3年3月定例会は3月1日から24日まで開催されました。
今回の定例会では一般会計予算・特別会計予算を始め、補正予算、条例の制定・一部改正など31案件の審議を行いました。

歳出合計 106億900万円



(単位:千円)

予算の総規模	会 計 区 分		歳入(収入)金額	歳出(支出)金額	差引金額	摘要欄
	一 般 会 計		10,609,000	10,609,000	0	
	特別会計	土 地 取 得	3,157	3,157	0	
		国民健康保険	2,868,827	2,868,827	0	
		介 護 保 険	2,474,697	2,474,697	0	
		後期高齢者医療	604,536	604,536	0	
	下水道事業会計		998,830	1,077,326	△ 78,496	補填財源
	予算の合計		17,559,047	17,637,543	△ 78,496	

《今年度には、このような事業があります》

(万円未満切り捨て)

●【歳入】学校給食共同調理場給食費徴収金 1億4,507万円

扶桑町立小中学校児童生徒第3子以降の学校給食無償化を開始(町負担分720万円)



●児童館整備事業費 1億4,420万円

令和5年の開設に向け、(仮称)多機能児童館建設に着手
令和3年度分の建設事業費を計上



●新型コロナウイルスワクチン接種事業費 1億2,855万円

新型コロナウイルス感染症の予防のためのワクチン接種を実施

●校舎大規模改造事業費 8,177万円

高雄小学校非構造部材の耐震化改修工事、扶桑東小学校体育館の大規模改修工事を実施

●公共下水道工事費 3億7,475万円

高雄字下山・中海道・北東川地区の幹線枝線工事及び舗装修繕工事実施

●公共交通関連事業費 30万円

新たな地域公共交通の導入に向けて地域公共交通会議を設置

●商品券発行事業補助金 8,280万円

地域振興、地域経済の活性化のため、プレミアム率50%(※)にて発行
※第1号補正により、3,120万円から増額

●ホームページ管理運営事業費 1,453万円

扶桑町のホームページを再構築し、スマートフォン対応に移行

みんなの声を聞きました

各常任委員会の審査内容

総務建設常任委員会

令和3年度一般会計予算

歳入歳出

問 町債7億1500万円と公債費6億5000万円、財政調整基金の取り崩し含めて、5・6年バランスが崩れている状況についての考えは。

答 町債の発行は、できるだけ有効なものは活用し、算定率の低いものは、財政調整基金を繰り入れるなど、事業によって調査をしながら進めている。

防犯カメラの設置

問 2年に2台設置すると聞くが、防犯カメラのこれまでの設置台数と今後の設置計画はあるか。

答 寄付も含め、交差点、

公園、保育園など各施設で合計79台設置している。今後は、目標値を持ちながら計画的に設置していきたい。

空家対策

問 空家対策除却費用補助金で、特定空家に匹敵するところは使えないということだが、内容は。

答 空家の解決は、所有者側と行政が丁寧話し合い、解決が見えないときは特別措置法の適用を受け特定空家となる。そうなる補助の対象とならない。

問 空家の有効活用で、住民団体が拠点とする場合、改修費が上限40万円の補助が出る。下水道が未接続の場合、借り手か、持ち主のどちらの負担になるか。

答 特別の取り決めがなければ、所有者の対応である。

丹羽用排水路整備

問 改修本体工事の時期と負担金の想定は。

答 令和3、4年度で設計、令和6年以降に扶桑町にかかって来る予定。負担金は令和5年から概算5361万円を予定する。

問 何年ぐらいの工期か。

答 事業としては犬山まで施工して令和10年までの予定。



町制70周年記念事業

問 記念事業で、町勢要覧作成と、プロモーションビデオ以外に考えているか。

答 令和3年度は準備の年

で、令和4年度70周年には何か考えていくことはある。

その他の議案

★扶桑町地域公共交通会議設置条例の制定について

令和4年度の運行開始に向けて有識者や関係分野の専門家で構成された会議を設置。

★令和3年度一般会計補正予算

・新生児子育て応援給付金(3万円)

・コロナ対策事業所応援補助事業

・商品券発行事業

当初予算で20%のプレミアム率の予定に、補正で30%上乗せして、計50%の商品券発行事業

総務建設常任委員会への付託案件として、土地取得特別会計等を含む、議案15件を審査しました。

反対討論

令和3年度一般会計予算

コロナに苦しむ住民・町内業者のくらしに寄り添う町政に！

高木義道 議員

コロナ禍の中、住民の命と暮らしを守る施策の推進と地方自治法の主眼である福祉の増進は、令和3年度の予算編成の要であると考えます。地域公共交通の確立・児童館建設は日本共産党議員団が継続して実現を求めてきたものである。その具現化が本予算に示されている点については評価する。子育て支援・高齢者福祉施策をますます充実し、扶桑町に生まれて良かった、住んでよかった、高齢になって安心して暮らせる環境形成こそがまちづくりの根幹でなければならぬ。新愛岐大橋・高雄東部開発など住民合意・地権者同意が危ぶまれる事業はいったん思いとどまり、コロナに苦しむ住民・町内業者のくらし・生業に寄り添う町政に全力をあげることを求める。国保税・介護保険料・後期高齢者医療保険料など営自公政権の自助を強要する国策の中で地方自治体にもその悪影響が住民の負担増大の原因となっている。よって令和3年度扶桑町一般会計予算には反対をする。

福祉文教常任委員会

令和3年度一般会計予算

新型コロナウイルスワクチン接種事業

問 新型コロナウイルスワクチン接種事業費1億2800万円ほどで、いつ頃から開始になり、この予算ですべてか。

答 ワクチンは、4月26日の週に入る予定。確実にワクチンが入ってきたところで予約を開始し、5月の連休明けには、事業を進めていきたいと思っている。ワクチン費用については、追加でコールセンターの経費もあり、今後分り次第変更されるもの考える。



新型コロナウイルスワクチン接種
コミュニケーション(中央公民館)

(仮称)多機能児童館建設工事
問 (仮称)多機能児童館建設について、工事までのスケジュールは。

答 現状は、基本設計が固まり、3月中に概算工事費の算定を経て、4月から詳細設計を始める予定である。また、設計期間は8月10日が完了となっており、完了次第、工事の発注手続きを進め、令和3年12月議会にて工事の契約議決予定で進めている。

デジタル教科書

問 中学校費デジタル教科書の内訳は。

答 教科として英語・社会、社会は地理、歴史、公民の3教科である。

校舎大規模改修工事

問 学校施設の校舎大規模修繕工事は何処か。

答 高雄小学校の非構造部材耐震化改修工事と、扶桑東小学校の体育館大規模改修工事である。

保健体育各種大会事業

問 新年度は新型コロナウイルス対策として、大会の内容及種目に工夫があるか。

答 新年度の文化・芸術・スポーツ行事については、新型コロナウイルスが終息するまで、町民の安全を第一に考え進めていく。現時点では、町民体育祭を個人や家族単位で参加できる、ボッチャやカローリング、フロリティなどを計画し検討中である。また、名称も『スポーツフェスティバル』に変更していきたい。

ワイヤレスドアホン

問 ワイヤレスドアホンは、各学習等供用施設に設置するか。

答 現在ある、8学習等供用施設すべてに設置する予定であり、防犯対策としても活用する。

その他の議案

★扶桑町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

平成30年度から国民健康保険制度の改革に伴い、3年が経過し中間見直しを行う中、財政運営を考慮した上で運営する。

★令和3年度一般会計補正予算

- ・新型コロナウイルスワクチン接種謝金
- ・コールセンター業務委託料
- ・新型コロナウイルスワクチン接種送迎委託料
- ・小中学校教室大型モニター設置

福祉文教常任委員会への付託案件として、国民健康保険特別会計予算を含む、議案15件を審査しました。

賛成討論

安全安心を守るための適切な予算！

大河原光雄 議員

コロナ禍の影響から個人所得の減少と企業収益の悪化により、町民税での大きな減収が見込まれ、義務的経費の増加や、公共施設の老朽化など、多額の財政負担が見込まれることから、厳しい財政運営が求められている。その中で、(仮称)多機能児童館建設工事、新型コロナウイルスワクチン接種事業があり、小中学校の児童生徒のうち、第3子以降の学校給食費の無償化と、高雄、扶桑東小学校の体育館大規模改修工事、高雄、南山名地区への防犯カメラ整備事業、危険空家の除却補助金など多くの新規、拡大事業が見込まれており、将来を見据えた着実な実行を期待する。

また、プレミアム商品券発行事業は、コロナ禍での町民への生活支援と、消費拡大による地域経済の活性化が図られるものと考え、公共施設のリースによるLED化なども、中長期的な経常的経費の平準化と削減を図るための施策と評価する。新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種事業を推進し賛成討論とする。

令和3年第2回(3月)扶桑町議会定例会 議員別審議結果一覧表

○賛否が分かれた案件

議案等	会派・議員	議決結果	桑政クラブ											共産党	日本	公明党	扶桑政クラブ	無所属
			伊藤 猛	大河原光雄	兼松 伸行	小室 輝義	近藤 裕	澤田 憲宏	杉浦 敏男	千田 勝文	丹羽 友樹	間宮 幹男	和田 佳活	高木 義道	荒木 孝三	佐藤智恵子	千田 利明	矢嶋 恵美
◆議案																		
第2号	令和3年度扶桑町一般会計予算	可決	○	○※	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●※	●	○	○	○
第4号	令和3年度扶桑町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○※	－	○	○	○	○	●	●※	○	○	○
第5号	令和3年度扶桑町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○※	○	○	－	○	○	○	○	●※	●	○	○	○
第17号	扶桑町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○※	－	○	○	○	○	●※	●	○	○	○
第20号	扶桑町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○※	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●※	●	○	○	○
◆意見書案																		
第1号	75歳以上の医療費窓口負担2割化撤回を求める意見書について	否決	●	●	●	●	●	●	－	●	●	●	●	○※	○	●※	●	●

賛否状況 ○：賛成 ●：反対 －：議長は採決に加わらない。※：討論者

令和2年度 議長交際費と政務活動費 報告

議長交際費執行状況

費目	件数	金額(円)
弔慰	6	35,604
賛助	3	15,000
合計	9	50,604

政務活動費収支報告

- ・交付対象 会派又は議員の職にある者
- ・交付金額 1人当たり年額6万円
- ・使途基準
(政務活動費を充てることができる経費の範囲)

研究研修費(研修会等負担金、講師謝礼等)
調査旅費(先進地調査経費)
資料作成費(印刷製本費、翻訳料等)
資料購入費(書籍、資料等の購入費)
広報費(広報紙、報告書印刷費等)
会議費(会議費、器材借上げ料等)

各会派等の収支報告内容

	収入(円)	支出(円)				返還金(円)
		研究研修費	広報費	資料購入費	支出合計	
桑政クラブ(11名)	660,000	0	0	289,620	289,620	370,380
日本共産党(2名)	120,000	5,470	0	95,815	101,285	18,715
公明党(1名)	60,000	22,920	0	41,964	64,884	0
扶桑新政クラブ(1名)	60,000	0	0	9,300	9,300	50,700
無所属(1名)	60,000	0	10,152	48,674	58,826	1,174

※政務活動費収支報告書・議長交際費の詳細は町ホームページでも公開しています。



2月臨時会開催

令和3年2月12日(金)に臨時会を開催し、一般会計補正予算(第14号)の審議を行いました。

一般会計補正予算(14号)

歳入歳出それぞれ406万6千円を追加し、主な内容は、新型コロナウイルスの接種に関する事務費、医師等への報償費などの補正、国の第2次臨時交付金の追加によりテレワーク推進の補助や給食費の3月分の免除など住民の生活を支援するため補正するものです。

町政を問う

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員が自身の考えや町民の皆様の声をもとに町政全般について質問することです。



3月8日、6議員が登壇し、 一般質問を行いました。

※今議会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

ワクチン接種事業を円滑に推進するため、通告提出の自粛を行い
日程を1日間としました。

質問者	件 名	ページ
大河原光雄	・令和3年度の予算について ・コロナワクチン接種事業について	8
近藤 裕	・安全な歩行空間の確保について ・災害弱者緊急通報システム設置運営事業の管理について	9
佐藤智恵子	・ゴミ問題について ・安心・安全のまちづくりについて	10
矢嶋 恵美	・青木川流域浸水防止対策と開発について	11
荒木 孝三	・子育て支援について ・国民健康保険税について	12
高木 義道	・学校教育について ・要支援者への対応について ・町道の整備について	13

財政運営面での 事業の廃止や見直しは



桑政クラブ

大河原光雄 議員

答

町民プール事業を廃止し、
保健センターの空調、
図書館の屋根改修を延伸する



廃止される町民プール

予算編成の考え方は

問 令和3年度の予算編成において特に意を用いたことは何か。

答 町長 町民税においては極めて厳しい状況と認識している。事業の緊急度・重要度を見極め、限られた財源を最大限効果的に活用できる予算編成に努めた。まずは、ワクチン接種を最優先事業とし、併せて、終息後を見据えた施策を着実に進めていく。

問 行政の指針として、具体的な事業の内容を定めて予算を投入したものは何か。

答 総務部長 多機能児童館の建設、児童生徒のうち第3子以降の学校給食費の無償化、地域経済活性化のためのプレミアム商品券の発行がある。

事業の廃止や見直しは

問 財政運営を堅持するための事業の廃止や見直しはあるか。

答 総務部長 老朽化や利用者の減少による町民プール事業の廃止、保健センターの空調設備改修工事や図書館の屋根改修工事を延伸し、現在稼働していないサングリーンハウスの温室も取り壊す。

問 コロナ禍において予算積算されたスポーツ、文化、芸術など、行事の開催をどのように推進するか。

答 教育次長 町民の皆様への参加機会の提供は、重要な行政サービスの一つと認識している。コロナ対応として必要な安全対策を実施し、開催の推進に向けて積極的、かつ、慎重に検討、判断していく。

コロナワクチン接種事業への取り組みは

問 今回のワクチン接種は、自治体の裁量に任せるということで、自治体にとつては非常に責任が重いと考えるが、本町の現状は。

答 健康福祉部参事 中央公民館での集団接種を基本に、かかりつけ医による個別接種も並行して実施する。2月27日に接種手順の確認作業を実施した。専門の推進担当として新たに主幹および主事の2名を加

え、事業を進める。接種券の送付は3月中の予定とし、4月1日以降にコールセンターを設置する予定である。

問 本町の接種を担っていた医師・看護師の確保の状況と課題は。

答 健康福祉部参事 集団又は個別でワクチン接種の協力をいただけるのは現在11医療機関で、限られた医療従事者の方にお願ひする事業であり、無理なく、継続事業としての実施が課題である。

問 「基幹病院」を持たない本町として、近隣自治体との連携による共同接種の考えは。

答 健康福祉部参事 複数自治体における共同接種はサービスの低下が予想され、尾北医師会管内2市2町での集団接種会場は各々の市町で定めている。他市町での接種歴などの情報のやり取りは課題であり、自治体間の連携は必要不可欠であると認識している。



桑政クラブ

近藤 裕 議員

安全な歩行空間の確保は

答

安全・安心な歩行空間の整備を進めていきたい



手前の従来型側溝蓋と改修したスリット蓋

問 扶桑町では学校周辺において路側帯を緑色にカラー化することにより、通行車両への注意喚起を行い歩行者の安全を守るため、グリーンベルトという手法を用いている。学校周辺以外でも、交通量は多いが道路幅の関係で歩車道区分ができない路側帯にグリーンベルトを設置することで、地域住民全体の安全な歩行空間の確保を図る計画はないか。

答 産業建設部長 今後のグリーンベルト設置計画では「扶桑町通学路交通安全推進会議」で提案された通学路や地区要望の意見を踏まえ設置していきたい。また交通量が多く、歩道と車道が区分されていない箇所では、道路の利用状況及び危険度を見極め、順次グリーンベルトの設置を計画していきたい。

問 狭い歩道内で側溝用の蓋が連続している箇所では、蓋にある雨水排水用の切込みに、靴のつま先や婦人靴のヒール部分が入り、靴の破損や場合により転倒に及ぶ危険もある。最近では蓋の継ぎ目に切込みはなく、側溝内の水の流れ方向に排水スリットを付けた製品もある。町内にある狭い歩道内に側溝蓋が連続し、歩行に危険が伴う歩道区間について、今後の側溝蓋改修計画は。

答 産業建設部長 歩道内の側溝蓋については、ガタツキや段差などの解消や従来の側溝蓋からスリット蓋への交換のため歩道整備工事を実施している。また、今後も側溝蓋が絡んだ安全対策については、歩行者の利用状況などの現地確認により、側溝の入れ替えや蓋の交換を計画的に行い、安全で快適な歩行空間の整備を進めていきたい。

問 「災害弱者緊急通報システム設置運営事業」の管理は
答 健康福祉部参事 緊急通報機器の定期点検頻度は、法令等による定めはないが、

問 定期点検時の点検チェックシートの使用は。
答 健康福祉部参事 現在、定期点検時に利用者にお渡しする書類は用意していないが、今後は利用者により分かりやすい点検チェックシートを作成し、点検後の結果を利用者に説明の上お渡しするよう進めていく。

自転車ヘルメット購入の補助は



公明党
佐藤智恵子 議員

答 補助制度の創設にむけて準備していきたい

問 町内での自転車事故の件数・年齢層は。

答 総務部長 令和2年中の自転車による事故は、24件。10代と65歳以上の人数だけで全体の8割以上を占めている。

問 自転車の事故で亡くなられた方のうち、約7割が頭部への致命傷が原因で、ヘルメット非着用時は着用時に比べ致死率が6倍になることから、自転車に乗る際は、大人も子どももヘルメット着用を心がけることが重要だ。学校ではヘルメット

着用についてどのように指導しているか。

答 教育次長 学校安全計画を立て、その中で自転車の乗り方や登下校時の交通安全について学習する内容を盛り込んでいく。ヘルメット着用に関しては、自転車に乗るときは必ずヘルメットを着用する、ヘルメットは命を守るものだということを中心に指導している。また交通事故、自転車関連の事故が近くで起きた場合には、ホームルーム等で注意喚起している。



問 自転車のヘルメット着用を促すため購入の際、町としてその一部を補助する考えはあるか。

答 総務部長 県の方で令和3年度から施行の「愛知県自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金」制度を創設予定である。県の動きに合わせ、令和3年度となるべく早い段階で補正予算に計上し、準備をしたい。補助対象者は7歳から18歳の児童・生徒及び65歳以上の高齢者を予定している。

問 安心・安全なまちづくりを目指し今後の啓発活動として、犬山署がホームページで公開している各小学校区ごとの安全マップを活用できないか。

答 総務部長 町ホームページで県警ホームページとリンクし、活用を促進していく。

問 ゴミ集積場の環境問題
ゴミ集積場でカラス

や猫等に荒らされるといふ相談が多い。解決策として、折りたたみ式ゴミボックス、また住民の方々がゴミボックスを製作する費用として、補助金を出す考えはないか。

答 産業建設部長 近隣市が導入している折りたたみ式ゴミボックスでカラス対策の効果が出ているということは承知しているが、設置場所、費用が高価である等課題もあり、積極的な導入は難しい。補助金に関しても今後の研究課題としていく。

問 ごみアプリを導入する考えは。また、近隣市の状況は。

答 産業建設部長 アプリを提供しているのは、犬山市、岩倉市。ブラウザ上で動くものを利用しているのが江南市、大口町である。本町としては、近隣市町が行なっているものか、Ａ－チャットボットか、導入費用や使い勝手等検討していく。



無所属
矢嶋恵美 議員

青木川改修計画の 今後の見通しは

答

令和3年度に前利神社まで
設計予定

問 町内最大の浸水被害地区の改修工事予定地内で開発が進んでいる。一日も早い改修を望む地元住民は、改修計画に影響があるのではと危惧している。その認識と対応は。

答 産業建設部長 現在の状況は埋め立て、土留めをし、間もなく住宅建設の予定。開発業者には、「浸水被害地で、青木川改修計画がある」ことを伝え、土地購入予定者に情報周知を依頼した。

問 課題としてどのように考えるか。

答 産業建設部長 市街化区域は今後も同様な開発が行われるかもしれない。土地情報を確実に周知していくことが重要と考える。

問 不動産売買には重要事項の説明が義務化されている。本町としても浸水被害想定区域であること、改修計画があること等ホームページなどで、情報公開していくべきでは。

答 産業建設部長 今後扶桑町で居住を考えている方へ、ホームページや河川改修計画情報等分かり易い案内を検討する。

問 国では、特定河川浸水被害対策法の一部改正で、今国会に「流域治水関連法案」が提案され県と市町村が連携し、浸水リスクの高い地域に一定の基準の規制がかけられる「浸水被害防止区域」の創設ができるようになったが、その考えはあるか。

答 産業建設部長 浸水被害に対する安全性を事前に確認する制度の創設等今後、改正法に基づく区域の指定について必要に応じ愛知県と協議していく。

問 国は、令和2年度3次補正と令和3年度予算で国土強靱化計画の流域治水の予算を強化している。改修計画も前倒して工事が進んでいるが、今後の改修工事の見通しは。

答 産業建設部長 町道柏森高屋線の橋梁の架け替え工事は令和4年度に完了予定し、並行して護岸排水工事も進められている。今後は、「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」の事業で前利神社までの事業に着手し、令和3年度は、設計を予定し改修内

容が明らかになる。その後事業進捗に関し地元説明会を行う。河川改修は地元の協力がなければ完成できない。地元と情報共有を図り愛知県と扶桑町が一丸となり対応していく考えである。地元説明会は早い時期に開催できよう働きかける。



青木川改修計画区域予定地

保育園における第2子の給食費無料化は



日本共産党
荒木孝三 議員

答

実施に向けては厳しい状況

問 保育園の給食費の現状と今後の考えは。

答 健康福祉部長 令和元年10月から3歳児以上の保育園料無償化の実施に伴い、主食費・副食費の合計額5160円を月額として保護者の方が負担している。保育園に同時入所の第3子及び在籍園児のいる世帯の所得によって副食費を免除する制度がある。第2子の無料化については、現在のところ実施に向けては厳しい状況にある。子育て支援の充実については重要な施策と認識しており、



様々な施策を講じていく必要があると考えている。今後は、近隣市町の影響を調査していく。

子どもの医療費

問 子どもの医療費の無料化の拡大は。

答 健康福祉部長 本町では中学校卒業(15歳までを対象に保険診療分の医療費助成を行っている。県内で本町と同じように中学校卒業まで入通院とも助成している市町村は、令和2年4月1日時点で、54市町村中63%にあたる

34市町、入院のみ18歳まで拡大している市町村は18・5%で10市、18歳まで入通院とも助成している市町村は18・5%の10市町村。本町において18歳まで医療費助成を拡大した場合、町の行う助成額は年間1300万円ほど増えるものと試算している。そのため、財源の見通しを確実なものとしておかなければならないと考える。

国民健康保険税

問 扶養家族が増えたと保険税が高くなるのは。

答 健康福祉部長 被保険者の保険税負担能力に応じて賦課される所得割と、受益に応じて等しく被保険者に賦課される均等割・平等割で構成されており、所得が同じでも加入者が多い世帯ほど税額が多くなることになる。例えば、課税所得200万円の試算では、3人世帯で年額は

26万4800円、4人世帯で年額は26万5800円、5人世帯で年額は28万9200円と、所得が同じでありながら保険税負担は、増えてくる。被保険者の負担が下がるような公費の増加要望をするなどしていきたい。

問 国民健康保険税の均等割のあり方は。

答 健康福祉部長 先に述べたように、所得が同じであっても加入者が多い世帯ほど税額が多くなる。国は、世帯の所得が一定額以下の場合には、均等割・平等割の7割・5割・2割を軽減する制度を設けて負担の軽減を図っており、全体の48・6%の世帯が軽減を受けている。国は未就学児を対象に均等割を全世帯一律に5割軽減とする制度を令和4年度から施行する方向性を示しており、今後の動向に注視していく。



日本共産党
高木義道 議員

扶桑町の学校教育の 目指すものは

答

資質・能力を明確にした
授業を実践



タブレットを活用した授業風景(扶桑東小学校)

問 令和2年度はコロナ禍で、厳しい教育環境にあった。新年度はどのように対応をするのか。

答 教育長 本年度、コロナ感染防止のため、学習形態・給食など生活様式が一変し、教師も子どもも伸びやかに学校生活を過ごすことができなかった。児童生徒・保護者が楽しみにしている行事はできる限り実施するよう、年間計画を立案している。

問 令和3年度に向け、扶桑町の教育はどのようにするのか、教育長はどのように考えるのか。

答 教育長 新任時、子どもの笑顔を守ることが教育者の使命と所信表明を行った。「学びに向かう力をつける」「仲間と共に頭脳と心を鍛え磨く」「多角的・多面的なものの見方・考え方を学ぶ」「自信をもって生きていく」など子どもの資質、能力を明確にして取り組む日々の授業実践が子ども

もの明るい未来と笑顔を創る。

要支援者への対応は

問 支援が必要な人への対応はどうか。地域包括支援センターの機能を十分に果たせているのか。

答 健康福祉部参事 地域包括支援センターは、地域住民の健康・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に実施する機関である。職員体制は、主任介護支援専門員・看護師・社会福祉士3名・介護支援専門員等の7名で運営。予防プラン作成が1103件、総合相談窓口での相談業務が5717件。高齢化の進展に伴い、センターの業務量も増加している。今後も業務量・人件費など効率の良い運営指導に努める。

町道の整備は

問 自転車で安心して走

れる道路がないと、よく耳にする。町道の整備をして、歩行者・自転車利用者が安全に通行できるよう努める必要がある。

答 産業建設部長 歩行者や自転車利用者のため、両者の安全を優先した町道整備の実施で安全な空間が作れる。段差の解消、蓋のすき間・がたつきなどを解消する。道路面の凹凸の解消、歩道内の通行に支障となる標識柱の改善、幹線道路のカラー塗装など安全に配慮することが必要。都市マスタープランの中で、住民要望を参考に道路整備を実施する。令和3年度には、歩行者・自転車利用者の安全確保のため歩道整備工事、側溝修繕工事を行う。今後も引き続き歩行者が通行しやすい道路整備を実施するとともに、自転車利用者の安全な通行を確保できるよう道路整備に努める。

議会改革特別委員会 令和2年度中間報告

<特別委員会の主な活動> 合計7回開催

令和2年4月に町議会議員選挙が行われ、6月定例会で第2期議会改革特別委員会として新しい顔ぶれで活動を開始。議会運営部会・広報広聴部会の両部会からの報告事項や協議事項の情報を共有するなど、特別委員会の共通決定事項として運営を進めた。

- ・10月29日 講師を招き全議員参加で「議会改革とは」の研修会を開催。
- ・11月4日～5日 全国市町村議会議員研修会に議員4名参加。

<議会運営部会の主な活動> 合計8回開催

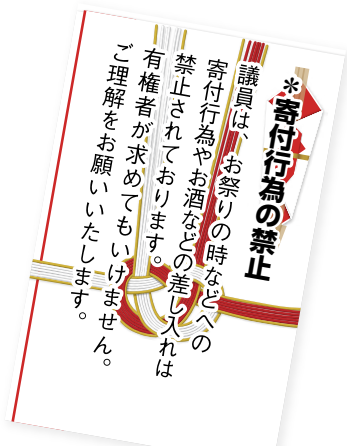
地域公共交通の在り方、及び議会先例集の先例を再検討することを取り上げ、「議会の委任による町長の専決処分について」、「陳情書の取り扱い」や「議事日程の検討」を協議し、特別委員会へ協議事項として提案。内、「議会の委任による町長の専決処分について」は、12月議会で議員提案とし議決。

<広報広聴部会の主な活動> 合計13回開催

第1期に続きタブレット端末の導入の検討と、住民への情報発信を進めることとして、「令和3年度予算要望としてタブレット端末の導入」「町民との意見交換会」を特別委員会へ協議事項として提案。

内、「タブレット端末の導入」は新年度予算に計上され、「町民との意見交換会」は3月23日扶桑町商工会青年部・3月27日扶桑町子ども会連絡協議会との意見交換会を開催。

各部会共に、次年度においても検討事項の活動を継続。



町議会議員として、50年以上在職されたとして、全国町村議長会より「名誉町村議会議員」として表彰され、表彰状の伝達が行われました。

名誉町村議会議員として表彰

小林 明 元議員

お知らせ

「会議録検索システム」インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ
↓
扶桑町議会
↓
扶桑町議会
会議録検索システム



●3月定例会分は、6月2日に更新を予定しています。

6月定例会の日程(予定)

6月2日(水)	開会・提案説明
6月8日(火)	一般質問
6月9日(水)	一般質問
6月10日(木)	議案質疑
6月11日(金)	福祉文教常任委員会
6月14日(月)	総務建設常任委員会
6月21日(月)	委員長報告・討論・採決・閉会

場所：扶桑町役場 2F議場
時間：午前9時30分から
(日程は変更になることがあります)

議会だより編集
特別委員会

委員長

澤田 憲宏

副委員長

佐藤智恵子

委員

矢嶋 恵美

千田 利明

兼松 伸行

荒木 孝三

伊藤 猛裕

近藤 裕